

## 図書館のサービス計画

森下 芳 則  
田原市図書館

### 1 はじめに

図書館サービス計画はミッション実現の道具

### 2 建設計画から図書館活動へ(田原市図書館を例に)

「田原町図書館の建設計画について」-答申- 平成8年

延床面積4,000㎡、蔵書規模35万冊、年間増加冊数22,000冊

資料購入費4,400万円、住民一人当たり8冊の貸出冊数

15名程度の職員体制

- 施設、職員、資料費、条例、「情報広場」

施設一大きすぎるといふ空気がある、答申は答申

職員一嘱託職員を含めて6~8人(議会答弁)

条例一君は忙しいから帰りなさい、後はこちらで作る

- アウトプットと市民の評価

- ・利用圏域 [館別累積距離]

	50%	80%
稲沢市立中央図書館	1.9 km	3.7 km
田原市中央図書館	3.9 km	11.8 km
碧南市民図書館	2.3 km	4.4 km

- ・愛知工業大学都市環境学科による来館者調査(2007年10月)

- ・市民意識調査(平成19年4月~5月)

- ・「図書館の充実」が田原市総合計画の施策130項目のうち最も満足度が高い。

### 3 田原市子ども読書活動推進計画(2004年11月)

### 4 職員による「田原市図書館の目標」(2006年2月)

### 5 「田原市図書館の理念と達成すべき目標」(2008年9月)

期の計画を立案し、その計画が自治体の施策として実行されなければならない。

#### 第4章 公立図書館の経営

##### 1 公立図書館経営の理念

84 公立図書館の経営は、図書館計画に基づき職員、経費、施設の適切な措置の上で、継続的・安定的になされる必要がある。運営においては、不断に計画・評価を組み込んで、地域住民の要求に応える体制を維持しなければならない。

#### 4 「公共図書館職員の自己改革」 葉袋秀樹 図書館雑誌 1994. 8

##### 4 公共図書館経営の課題 (2) サービス計画の確立

公共図書館界にはサービス計画立案の方法論が欠けている。新館計画の方法論はあるが、既成の図書館の改善計画の方法論は存在しない。この点では社会教育分野の方が進んでおり、国立教育会館教育研修所の図書館司書専門講座における「図書館サービス計画立案の技術」の研修は貴重である。このノウハウを公共図書館界に普及させる必要がある。